

めぐもりHistory

第一章

それぞれの想い

洪：2011年妊娠中に東日本大震災を経験。有事において、自分は社会的弱者であることを痛感。地域とつながりを持つことがとても大切だと気づく。この頃から地域コミュニティについて考え始め、近隣ママさんと町内会の子供会活動をスタートさせながら、「目黒駅前新聞」を立ち上げる。

福島：2007年EASE(スタジオ撮影・撮影小物レンタル業)として目黒駅徒歩2分の場所に移転。町内会にも参加し、地域との関わりを大切にしてきた中で、もっと地域のために何かできないのかと自問自答し始める。

佐藤：2014年目黒駅近くに越して来る。地域企業も巻き込みながら精力的に活動している子供会に感銘を受け、お手伝いを始める。

第二章

想いが重なる

町内会で顔を合わせ話しをする中で、お互いの想いに共感し、目黒駅前を盛り上げる活動を一緒に始めることに。2019年「目黒駅前wa-sshoy!プロジェクト」と名付け、子供会ハロウィン、目黒駅前100人カイギ、目黒街角クリスマスなどのイベントを開催する。

第三章

さらなる重なりを

活動が大きくなるに伴い、自主サークルのような形に限界を感じ、法人化することを決意。地域住民、商店街、地域企業、行政を巻き込んで魅力あふれる目黒を更にワクワクする街・強い街作りに。

第四章

.....

